

# 充てん容器等の流出防止に関する液石法等改正内容

一般社団法人 秋田県L Pガス協会

近年の大雨による水害等の多発化・激甚化、及びそれに伴う容器流出の発生を踏まえ、消費先に設置されている充てん容器に対して、流出防止措置を講ずることが液石法規則(省令)に新たに規定された。

液石規則(省令)公付  
// 施行

令和3年6月18日  
令和3年12月1日(経過措置あり)

＜令和3年12月1日時点の既存消費者は2. 6年間(令和6年6月1日迄)  
同時点以降の新規消費者は改正内容にて即時対応＞

### 【概要】

これまで「LPガス設備設置基準及び取扱要領(KHKS0738)(通称:青本)」「LPガス災害対策マニュアル」等において推奨されてきたものとほぼ同様。

20kg以下容器を消費先に設置する場合は、ベルト・鎖等をプロテクターに通す、20kgを超える容器(30kg、50kg容器等)にあつては、二重掛けを行うことなどの措置を行うもの。

流出防止措置を講ずる対象地域については、洪水浸水想定区域(想定最大規模)等において、1m以上の浸水が想定されている地域。(実質的には、市町村作成のハザードマップに従う。)

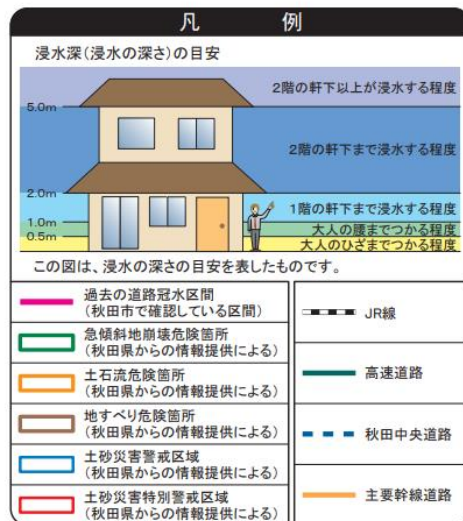
項目	内容					
改正 省令	浸水のおそれのある地域においては、 充てん容器等が浸水によって流されることを防止する措置を講ずる					
場所	浸水のおそれのある地域は、洪水浸水想定区域（想定最大規模）等において、1 m以上の浸水が想定されている地域とする。					
流出 防止 措置	(i)軒先 の設置	固定金具について ・ベルト又は鉄鎖が外れにくい固定金具を使用すること。				
		ベルト又は鉄鎖について				
		<table><tr><td>充てん量20kgを超える 容器</td><td>1 本目のベルト又は鉄鎖を当該容器の底部から容器の高さの3 / 4 程度 の位置に、2 本目のベルト又は鉄鎖を容器底部から1 / 4 程度の位置に それぞれゆるみなく取り付け固定すること。ただし、プロテクターのある 容器の場合は、2 本のベルト又は鉄鎖のうちいずれか1 本について、 プロテクターの開口部にベルト又は鉄鎖を通して取り付けることができる。</td></tr><tr><td>充てん量20kg以下の 容器</td><td>当該容器のプロテクターの開口部にベルト又は鉄鎖を通して取り付け、 ゆるみなく容器を固定すること。</td></tr></table>	充てん量20kgを超える 容器	1 本目のベルト又は鉄鎖を当該容器の底部から容器の高さの3 / 4 程度 の位置に、2 本目のベルト又は鉄鎖を容器底部から1 / 4 程度の位置に それぞれゆるみなく取り付け固定すること。ただし、プロテクターのある 容器の場合は、2 本のベルト又は鉄鎖のうちいずれか1 本について、 プロテクターの開口部にベルト又は鉄鎖を通して取り付けることができる。	充てん量20kg以下の 容器	当該容器のプロテクターの開口部にベルト又は鉄鎖を通して取り付け、 ゆるみなく容器を固定すること。
		充てん量20kgを超える 容器	1 本目のベルト又は鉄鎖を当該容器の底部から容器の高さの3 / 4 程度 の位置に、2 本目のベルト又は鉄鎖を容器底部から1 / 4 程度の位置に それぞれゆるみなく取り付け固定すること。ただし、プロテクターのある 容器の場合は、2 本のベルト又は鉄鎖のうちいずれか1 本について、 プロテクターの開口部にベルト又は鉄鎖を通して取り付けることができる。			
充てん量20kg以下の 容器	当該容器のプロテクターの開口部にベルト又は鉄鎖を通して取り付け、 ゆるみなく容器を固定すること。					
ただし、積雪時において、容器交換作業に支障を来す可能性のある場合であって冬の期間等にあつてはこの限りでない。						
(ii) 容器収納庫への保管						

## 地方自治体が発表しているハザードマップ(例)

# 秋田市 災害ハザードマップ (旭川洪水避難地図)

1/2

- このハザードマップは、旭川の流域で100年に1回程度の大雨(24時間の総雨量が195mm)により堤防が決壊し、旭川がはん濫した場合を想定したものです。
- 日頃から避難施設や危険箇所を確認し、家族や地域の方と一緒に災害に備えましょう。
- 道路が冠水している状況で避難するのは大変危険です。上流域も含めた雨量や河川の情報を収集し、洪水の恐れや危険を感じたときは早めに避難しましょう。
- 緊急の場合は、秋田市防災安全対策課など、緊急時の連絡先へ電話してください。
- ハザードマップはよく見える場所に掲示し、大切に保管してください。



### 気象・河川情報の入手先

#### 秋田地方気象台 防災気象情報

降雨量や、秋田県に発表されている気象警報・注意報を知ることができます。

## 対策の対象地域

秋田県内の雨量、河川およびダムの水位、土砂災害警戒情報を知ることができます。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/>

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/mobile/>

#### 国土交通省 リアルタイム 川の防災情報

リアルタイムの降雨量・河川水位を知ることができます。

<http://www.river.go.jp/>

<http://i.river.go.jp/>

### 避難施設(平成24年3月現在)

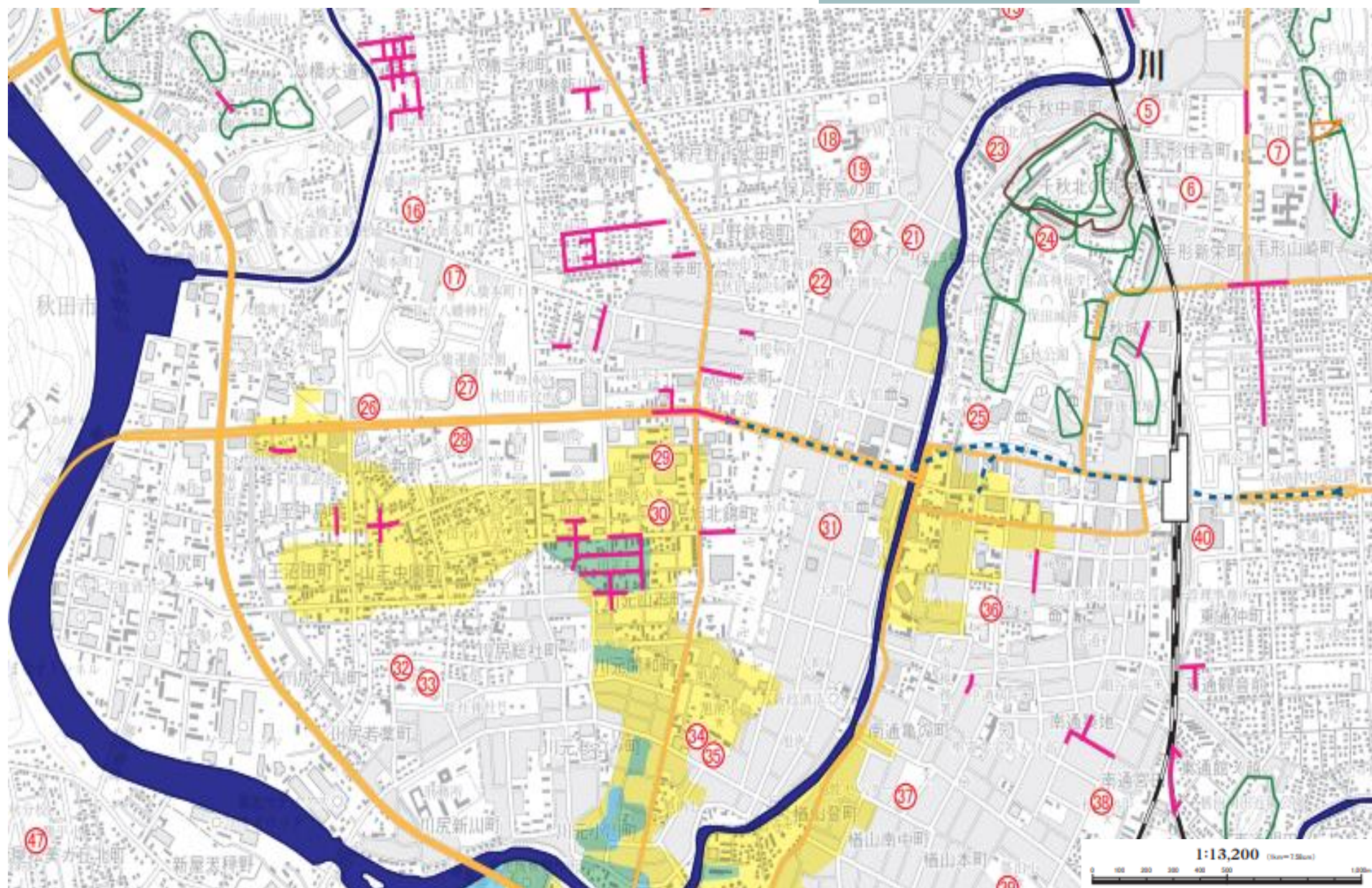
名 称	所 在 地	電話番号
① 外旭川小学校	外旭川字梶ノ目262-2	868-3200
② 外旭川中学校	外旭川字梶ノ目50	868-3100
③ 旭川地区コミュニティセンター	手形字オノ浜51-2	835-1712
④ 秋田高等学校	手形字中台1	832-7200
⑤ 秋田東中学校	手形休下町10-51	833-8261
⑥ 明徳地区コミュニティセンター	手形休吉町2-27	836-1636
⑦ 秋田大学	手形学園町1-1	889-2207
⑧ 広面小学校	広面字蟹沢29	833-0736
⑨ 東部公民館	広面字釣瓶町13-3	834-2206
⑩ 秋田県青少年交流センター	寺内神屋敷3-1	880-2301
⑪ 八橋小学校	八橋大沼町7-1	862-6930
⑫ 泉地区コミュニティセンター	泉北1丁目20-27	824-8035
⑬ 泉中学校	泉北2丁目6-1	863-8901
⑭ 秋田工業高等学校	泉中央5丁目2-1	864-8799
⑮ 八橋地区コミュニティセンター	保戸野金砂町3-1	823-7326
⑯ 八橋老人いこいの家	八橋5丁目2-27	866-8341
⑰ 秋田大学附属小学校	保戸野原の町13-1	862-6025
⑱ 秋田大学附属中学校	保戸野原の町7-75	862-2593
⑲ 保戸野小学校	保戸野すわ町9-60	862-3350
⑳ 聖園学園短期大学	保戸野中町6-12	865-0987
㉑ 秋田北高等学校	保戸野すわ町1-58	824-4701
㉒ 明徳小学校	千秋中島町8-1	833-1920
㉓ 秋田和洋女子高等学校	千秋公園1-13	834-1371
㉔ 県立体育館	千秋明徳町2-26	833-4737
㉕ 秋田県スポーツ科学センター	八橋運動公園1-12	833-1353
㉖ 文化会館	八橋運動公園1-5	862-3782
㉗ 山王中学校	山王7丁目3-1	864-7911
㉘ 旭北小学校	山王3丁目1-24	865-1191
㉙ 旭北地区コミュニティセンター	山王3丁目1-35	823-8361
㉚ 川尻小学校	大町4丁目4-15	823-8544
㉛ 川尻地区コミュニティセンター	川尻みよし町8-31	866-7266
㉜ 旭南地区コミュニティセンター	川尻みよし町8-16	824-2374
㉝ 旭南小学校	旭南1丁目15-5	866-2770
㉞ 中通小学校	旭南1丁目15-1	865-3337
㉟ 橋山地区コミュニティセンター	中通5丁目8-22	824-5281
㊱ 秋田南中学校	橋山南中町1-9	833-4341
㊲ 築山小学校	南通宮田15-1	834-9844
	橋山古川新町65-1	833-8467
		833-4305

名 称	所 在 地	電話番号
④⑩ 秋田市民交流プラザALVE(アルヴェ)	東通仲町4-1	887-5310
④⑪ 東小学校	東通2丁目11-1	834-9291
④⑫ 城東中学校	広面字鍋沼17	834-9281
④⑬ 東地区コミュニティセンター	広面字鬼頭38	833-9967
④⑭ 桜中学校	桜台1丁目1-1	837-5305
④⑮ 桜小学校	桜4丁目12-1	833-3375
④⑯ 秋田商業高等学校	新屋勝平1-1	823-4308
④⑰ 勝平小学校	新屋松美が丘北町14-1	823-5660
④⑱ 勝平中学校	新屋北浜町13-1	863-7782
④⑲ 勝平地区コミュニティセンター	新屋松美が丘東町10-10	862-1618
⑤① 茨島体育館	茨島1丁目4-71	865-1417
⑤② 城南中学校	樺山城南町4-1	834-2367
⑤③ 南部公民館	牛島東6丁目4-5	832-2457
⑤④ 牛島小学校	牛島東6丁目6-1	832-8296
⑤⑤ 一つ森公園コミュニティ体育館	下北手桜字蛭沢141-7	831-8300
⑤⑥ 栗田養護学校	新屋栗田町10-10	828-1162
⑤⑦ 日新小学校	新屋栗田町24-1	828-4408
⑤⑧ 秋田西中学校	新屋大川町19-75	828-4644
⑤⑨ 秋田公立美術工芸短期大学附属高等学院	新屋大川町12-3	828-4127
⑤⑩ 秋田公立美術工芸短期大学	新屋大川町12-3	888-8100
⑥① 西部市民サービスセンター	新屋扇町13-34	888-8080
⑥② 大住地区コミュニティセンター	仁井田字西湯敷463	839-6900
⑥③ 大住小学校	仁井田字西湯敷33	839-0611
⑥④ 秋田南高等学校	仁井田緑町4-1	833-7431
⑥⑤ 御野場中学校	仁井田字中新田223	839-0681
⑥⑥ 仁井田小学校	仁井田本町4丁目7-1	839-2350
旭川小学校	手形字オノ浜63	832-2862

### 緊急時連絡先

名 称	電話番号
秋田市総務部防災安全対策課	866-2021
秋田市消防本部指令課	823-4265
秋田県総務部総合防災課	860-4563
秋田県秋田地域振興局建設部工務課	860-3481
国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所 (雄物川・国道7号・国道13号)	823-4167
国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所 秋田国道維持出張所 (国道7号・国道13号)	862-2276
消防・救急・・・119	警察・・・110





(i) ベルト又は鉄鎖が外れにくい固定金具を使用すること。充てん量20kgを超える容器にあつては1本目のベルト又は鉄鎖を当該容器の底部から容器の高さの3/4程度の位置に、2本目のベルト又は鉄鎖を容器底部から1/4程度の位置にそれぞれゆるみなく取り付け固定すること。ただし、プロテクターのある容器の場合は、2本のベルト又は鉄鎖のうちいずれか1本について、プロテクターの開口部にベルト又は鉄鎖を通して取り付けることができる。充てん量20kg以下の容器にあつては当該容器のプロテクターの開口部にベルト又は鉄鎖を通して取り付け、ゆるみなく容器を固定する。

(ii) 容器収納庫に保管する。

## 対策

## イメージ図

容器が浮上すると、鎖などが持ち上げられて外れやすいことから、外れにくい固定金具を使用することとされています。

### <対策例>

- ・片側は取り外し不可とし、もう一方は抜け落ち防止機構のあるフック
- ・抜け防止のカエシがついて外れにくいフック
- ・引っ掛け部分に十分な深さがあり、安易に外れないフック



カエシに  
抜け防止がある  
フック



カエシに  
深さがある  
フック

- ・ 容器 1 本ごとの鎖掛け
- ・ ベルトによる二重掛け
- ・ プロテクター容器の掛け
- ・ 20kg 以下の容器の掛け
- ・ 容器収納庫



ベルトによる二重掛け



プロテクター



20kg 以下



容器庫収納

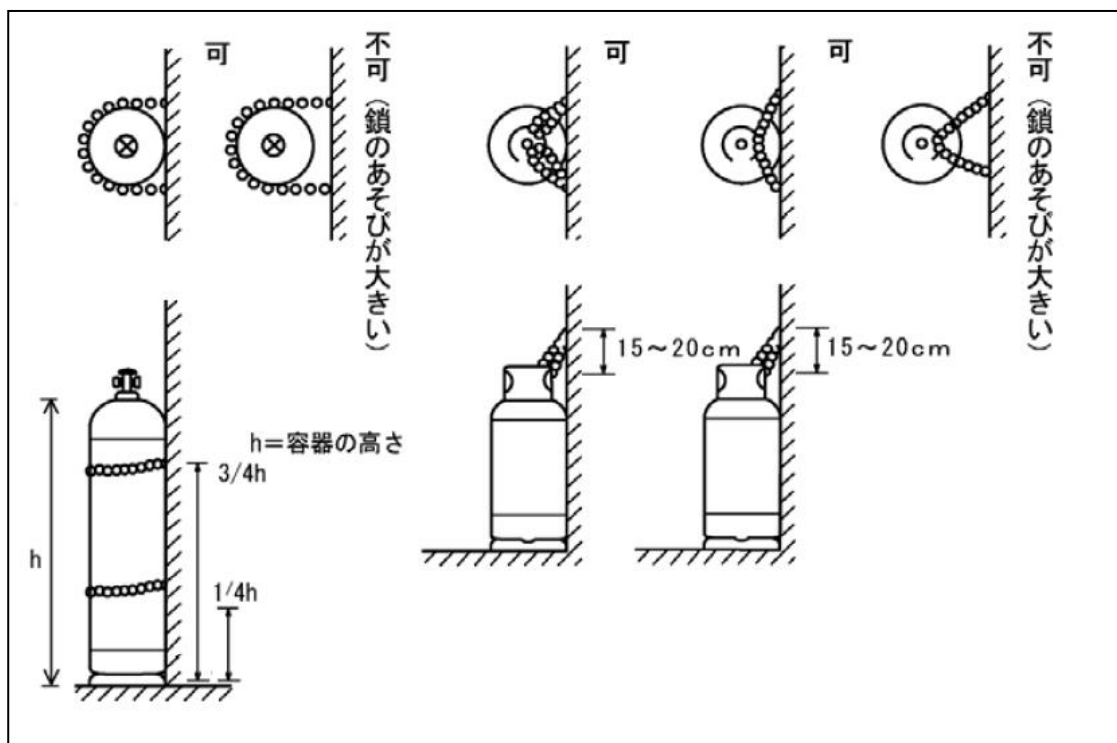
容器 1 本ごとの鎖掛け

(KHK Sによれば原則は1本ごとに固定、ただし、3本以内はまとめることができる)

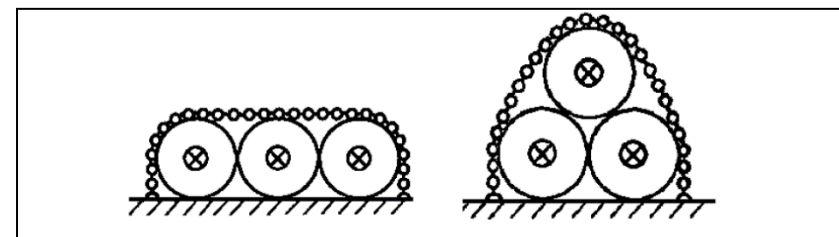


以下、KHKS0738の記載に基づいた適切なベルト等の設置例。

- ① 20kgより大きい容器、20kg以下の容器のベルト又は鉄鎖の例
- ② 3本以下の容器に鎖掛けを行う場合には、まとめて鎖掛けを行うことができる。  
この場合でもあっても二重掛けとすること。



①ベルト又は鉄鎖の例



②まとめてベルト又は鉄鎖の例

## その他充てん容器等の流出を防止する措置の一例

### 対策

- ・ 専用固定具
- ・ 独立支柱
- ・ 浮きあがり防止容器ホルダー

### イメージ図



専用固定具



独立支柱



浮きあがり防止付き容器ホルダー

いずれも二本掛けとして、ベルト又は鉄鎖等が外れにくいことを確認する。



### ① 積雪地域について

積雪時において、容器交換作業に支障を来す可能性のある場合であって冬の期間等にあってはこの限りでないとなっている。なお、具体的な積雪期間等については、地域・年度によって異なるため目安は示すことはできないが、販売事業者が地域の実情を踏まえて判断することになる。

### ② 容器交換時供給設備点検への配慮

容器交換時供給設備点検時に、配送員が点検するそれぞれの供給先が洪水浸水想定区域に該当するか否かの判断がその場では難しい。

そのため、販売事業者は、事前に該当区域にある消費先を確認し、保安機関など第3者が現場で対象区域かどうか判断可能とするためにメーター等に明示シールを貼付等、事前に対応する必要があると思われる。(配送委託の場合等、点検業務の円滑化)

### ③ その他(経過措置:2年6ヶ月)

・令和6年6月1日迄は既に供給している物件については、経過措置の適用があるが、時間的余裕を持った取り組みが必要。

### 1. 自社(店)の供給エリアの対象区域の確認

- (1) 市町村作成の浸水ハザードマップの入手(市町村窓口・HPなど)
- (2) 入手したマップに消費者をプロット(落とし込む)する。  
(マップを一目見て浸水区域(1m)のところへ)

### 2. 対象消費者の一覧表(市町村別)の作成

- (1) 今後の経過措置期間における改正法への対応状況を把握し、共有するため

### 3. 容器交換時・定期点検時における良否判定の実施関連

- (1) 施行日における既存消費者の点検も経過措置期間においては猶予されるため  
(旧基準にての対応状況点検)新基準対応までは猶予される。(現場では「良」とする。)
- (2) 施行日以降の新規消費者についての点検項目について、チェック項目や対象区分の等のシステム改修が間に合わない場合、現行の「転倒・転落防止措置」の点検欄で判定する。保安機関と販売事業者は経過措置期間における対処方法についての手段等については綿密な情報共有を図る必要がある。  
(容器交換伝票や保安点検調査書の該当欄は早めの改修が必要です。)